

## 第52回(2007年)

(平 7005) 回 52 第

問 10 哺乳動物の全身被ばく後の骨髄死に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 被ばく後2, 3日以内に死にいたる。
- B 速中性子線被ばくの場合は,  $\gamma$ 線被ばくよりも低い線量でみられる。
- C マウスではヒトの場合よりも低い線量でみられる。
- D 半数致死線量程度の被ばくの場合にみられる。

1 AとB 2 AとC 3 BとC ④ BとD 5 CとD

問 16 原爆被爆者における, がんの発生と死亡に関する次の記述のうち, 正しいものの組合せはどれか。

- A 白血病の発病までの潜伏期は, 被ばく線量が大きいほど長くなる。
- B 胃がんの発生に関する過剰絶対リスクは, 白血病と比較して高い。
- C 胃がんの発生に関する過剰相対リスクは, 白血病と比較して低い。
- D 甲状腺がんによる死亡に関する過剰相対リスクは, 白血病と比較して高い。

1 ACDのみ 2 ABのみ ③ BCのみ 4 Dのみ 5 ABCDすべて

問 18 放射線発がんに関する次の記述のうち, 正しいものの組合せはどれか。

- A 中性子線ではエネルギーによらずリスクは一定である。
- B 甲状腺がんのリスクは男性の方が高い。
- C 白血病では被ばく時年齢が低いほど潜伏期は短くなる。
- D 線量率による影響を受ける。

1 AとB 2 AとC 3 BとC 4 BとD ⑤ CとD

問 26 放射線による遺伝的影響に関する次の記述のうち, 正しいものの組合せはどれか。

- A 遺伝的影響の重篤度は線量に依存しない。
- B 原爆被爆者の調査から, 多くの遺伝性疾患の増加が報告されている。
- C 遺伝的影響リスク推定の直接法では「倍加線量」の概念を用いる。
- D 遺伝的影響は倍加線量が大きいかほど起こりにくい。

1 ABCのみ 2 ABのみ ③ ADのみ 4 CDのみ 5 BCDのみ